

J R 花巻駅橋上駅舎及び東西自由通路 デザインコンセプト検討ワークショップ

第1回 花巻らしさとは？

花巻の残したい風景・大事にしたい風景・伝えたい景色

2023年1月29日（日）10:00-12:00

1. 本ワークショップの概要
2. 全3回の進め方
3. 第1回の進め方
4. 「景観」について
5. アンケートについて

2. 全3回の進め方

回数	日程	場所
第1回	令和5年1月29日（日）10:00～12:00	生涯学園都市会館（まなび学園） 3階 第2・第3中ホール
第2回	令和5年2月19日（日）10:00～12:00	定住交流センター（なはんプラザ） 1階 COMZホール
第3回	令和5年3月19日（日）10:00～12:00	定住交流センター（なはんプラザ） 1階 COMZホール

○検討テーマ

第1回 「これまでの検討経緯と検討条件の確認」、**「他事例紹介」、**
「花巻の残したい風景や花巻らしさとは？」

第2回 「駅舎との関わり方（自分・家族・来訪者）」、
「駅及び駅周辺に創り出したい景観テーマ・ストーリー・世界観！」

第3回 「駅舎の使い心地良さとは？」、「ディテール」、
「コンセプト案のまとめ・修正」

3. 第1回の進め方

時間	内容
10:20～ (10分)	<p>(1) 自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none">・自己紹介：所属、名前、居住エリア、参加理由、駅の思い出 <p>(2) 役割分担</p> <ul style="list-style-type: none">・書記係 1 名、発表係 1 ～ 2 名、タイムキーパー 1 名、まとめ係 1 名、盛り上げ係 1 ～ 2 名
10:30～ (60分)	<p>(3) 意見交換</p> <ul style="list-style-type: none">・テーマに沿って参加者のみなさんで意見交換します。
11:30～ (10分)	<p>(4) 各班まとめ</p> <ul style="list-style-type: none">・まとめ係を中心に各班の意見交換の結果をまとめます。
11:40～ (15分)	<p>(5) 全体発表</p> <ul style="list-style-type: none">・発表係を中心に 1 班当たり 3 分程度で各班の検討結果を発表します。
11:55～ (5分)	<p>(6) 講評</p> <ul style="list-style-type: none">・倉原先生より講評をしていただきます。

■目的

- ・ 3回のワークショップを通して、花巻駅の橋上駅舎及び東西自由通路の外観や内観のデザインコンセプトを取りまとめます。
- ・ ワークショップで検討した結果に基づき、基本設計が行われますので、現実的で「花巻らしいデザイン」のコンセプトについて意見交換・議論・検討を行います。

■話し合いのルール（その1）

- ・ 建物の配置や構造等を変えずに、JR花巻駅橋上駅舎及び東西自由通路の外観や内観に関わるアイデアを段階を踏んで取りまとめていきます。
- ・ 建物の配置や構造等を見直す意見（設計変更）を求めるアイデアには、これまでの整備費縮減の検討経緯から対応できないことをご了承願います。

■話し合いのルール（その2）

- ・ 自由なアイデアを発言する場ですので、アイデアに対する否定や結論、判断等はやめましょう。
- ・ 質より量です。どんどん発言してください。
- ・ 発言はなるべく短く、他の人の発言機会を増やしましょう。
- ・ 「行政批判」「そもそも論」は別の場をお願いします。

■岩手県景観計画

第3章第1節「目指すべき県の景観」より

1 基本となる目標像

(1) 自然との共生

岩手の豊かで美しい山、川、海によって形成された自然との共生を感じることでできる良好な景観の形成を目指します。

(2) 活力と潤いのあるいきいきとした生活環境

日常生活の中の身近な環境を、活力と潤いのあるいきいきとしたものとして感じることでできる景観の形成を目指します。

(3) 歴史と文化の継承

地域の歴史と文化が、今に引き継がれている姿を感じることでできる景観の形成を目指します。

■岩手県景観計画

第3章第1節「目指すべき県の景観」より

◎市街地景観を有する地区

【昔ながらの市街地景観を有する地区】

地域の生活の歴史を形に残したまち並みの姿を大切にしながら、そこに住み、まち並みを守り育てていく人々の暮らしが見える景観の形成を目指します。

県内にある昔ながらの市街地は、城下町や街道筋の宿場町として形成されたものが大部分を占めており、（中略）まち並みの統一感が失われつつあるのが現状です。

昔ながらの市街地の景観は、単に古いものを残すということを目指すのではなく、歴史を形に残したまち並みの中で、そこに住み、そのまち並みを守り育てていく人々のいきいきとした暮らしが見える景観の形成を目指すべきで、このような景観を、地域の魅力として活性化にもつなげていくという観点での取組の展開が必要です。

■岩手県景観計画

第3章第2節「岩手の景観を構成する要素」より

◎特に大切にしていきたい景観要素（各地区共通のもの）

- ・ 緑豊かな山並みと清らかな水をたたえた川や海
- ・ 季節と人々の営みによって変化する自然、農山漁村、市街地の姿
- ・ 豊かな緑や花々
- ・ 地場の産業によって形成された産業景観
- ・ 景観の魅力を高める建物や橋、道等
- ・ 美しい夜空
- ・ 地域の祭りや市日等、地域性豊かな賑わい
- ・ 寺社や仏閣等の信仰の場
- ・ 歴史を超えて存在する樹木

■ アンケート

「簡単なアンケート（3問）」と「本日伝えられなかったこと、気付いたこと、良かったことなど」を聞いています。ぜひご回答ください。

